



ふれあい

2019年12月
現在の会員数
男性 1,360名
女性 609名
合計 1,969名

2020年/1月
164号

題字 府中市長 高野律雄 書

公益社団法人府中市シルバー人材センター発行/東京都府中市府中町1-30 ふれあい会館1F/TEL042-366-2322



小物班による作品

本年もよろしくお願いたします

監	理 常 副 会
“ “ “ “ “ “ “ “ “ “	務 理 会
事	事 事 長

澤 高 松 瀬 成 芝 田 清 日 田 智 徳 関 松 洪
村 木 井 谷 沢 辻 嶋 水 下 村 田 田 根 本 谷

職 一 政 等 周 洋 昌 淳 正 優 孝 悦 豊 昌 基 彰
員 男 邦 三 子 三 之 子 二 子 彦 一 男 男
一 同

●目 次

- 新年のごあいさつ 2
- 働く会員の職場訪問 3
- 子年生まれの元気な会員さん 3
- 各地域懇談会 4～6
- 技能祭・女性会員交流会 7
- リサイクルフェスタ 8
- 市民協働まつり 8
- 会員からの投稿・お知らせ 8

令和2年 年頭のあいさつ

会長 渋谷 彰



明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年中は、シルバー人材センターの発展に多くの皆様のご理解とご協力をいただきありがとうございます。

昨年10月の台風19号の影響により多くの市民やセンター会員の方々に避難勧告や指示が発令され、今まで経験したことのない混乱が生じました。

幸い、大きな被害となりませんでした。しかし、会員の就業状況や安全確認など地震だけでなく、水害等に対する危機管理に対して、適切な対応をする必要を強く感じました。

当センターの第3次中期計画

では、令和4年度までに会員数は2,000人、事業実績9億円を基本目標としています。現在会員数は1,900人、事業実績は8億3千万円を超える勢いで推移しております。これも、関係団体の協力や会員の努力によるものと感謝申し上げますが、なお一層計画の実現に向けて邁進する所存でございます。

今年、家庭内特に高齢者宅で、ちょっとした困りごとを短時間でお手伝いする、お助け隊（ワンコインサービス）を充実したいと思っておりますので、会員の方の協力参加をよろしくお願いいたします。

そして、センターが地域社会にとつても、貴重な存在であるとともに、会員相互が「自主・自立・共働・共助」の理念を改めて確認したいと思っております。

結びに、会員皆様には、本年センターを通じて社会活動へ参加するとともに、生きがいを感じていただき、光輝く素晴らしい年となりますよう祈念し新年のご挨拶いたします。

新年のごあいさつ

府中市長 高野 律雄



新年明けましておめでとうございます。

公益社団法人府中市シルバー人材センターの会員並びにご家族の皆様におかれましては、輝かしい令和2年の新春をお健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、皆様には日頃より、市政の各般にわたり、ご理解とご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

貴センターにおかれましては、地域の発展のため「自主・自立・共働・共助」の理念に基づき、事業内容の充実にも努められ、創立以来長きにわたり、市民の皆様からの信頼のもと、着実に実績を築いてこられましたことは誠に同慶にたえません。これもひとえに、

渋谷会長をはじめ、歴代の役員並びに会員の皆様が、就業を通じて安定した運営に努めてこられた賜物と、深く敬意を表する次第でございます。

本市といたしましても、目指す都市像である「みんなが笑顔あふれる 住みよいまち」の実現に向け、住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせるまちづくりを進め、高齢者福祉施策をはじめとする、様々な施策の推進に努めるとともに、センターの活動を支援してまいります。どうか皆様におかれましては、健康に十分ご留意をいただき、今後とも、変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

新春にあたり、公益社団法人府中市シルバー人材センターのますますのご発展と、会員並びにご家族皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申しあげまして、新年のご挨拶いたします。

働く会員の職場訪問 府中市立児童クラブ

児童クラブは、府中市の小学校22校の敷地内又は隣接した場所に、放課後の児童が安全に楽しく過ごせるために設置されています。

そこで働く人たちは支援員と呼ばれ、児童一人ひとりを把握しながら、集団遊びや行事などを行っています。今年度から、シルバー会員9名が派遣職員として各児童クラブで働くようになりました。

11月18日にふれあい会館において、4名の会員からそれぞれの児童クラブで働く様子を話していただきました。4名とも、週に3日ほど、午後1時過ぎから午後5時過ぎまで就業しています。

長島玲子さんは四谷小学校の児童クラブに所属し、子どもたちから「玲ちゃん」と声をかけてもらえるのがとても嬉しいそうです。仕事は楽しいですが、叱り方が難しいと話していました。

今泉美恵子さんは第五小学校の児童クラブに所属しています。幼稚園や保育所で働いた経験を活かしながら、子どもたちと過ごす時間は「すごく楽しい！」と笑顔で話していました。

齋藤孝予さんは第三小学校の児童クラブに所属しています。最初は辛

かったようですが、子どもたちとの触れ合いで色々なことを学べて良かったと話してくれました。仕事は体力勝負だそうです。

鈴木紀代子さんは第一小学校の児童クラブに所属しています。1年前に府中市に転入してきました。いろいろな子どもたちと接することは楽しく、大変だとは思わないとのこととです。

どの児童クラブも100名前後の子どもたちを抱えており、4名の方々に共通する悩みは「子どもたちの名前を覚えること」と、盛り上がった会話の中で笑いながら話していました。



子年生まれの元気な会員さん

長崎県出身、子供の頃から手芸好きでした。結婚後、府中に住み、介護ヘルパーの資格取得、仕事をされました。

趣味の藤工芸は15年前から始め、デイサービスに來られる方の作品作りにもボランティアとして協力してきました。



子育てひろば
ベビーゆうゆう
土屋 清子さん
(今年72歳)

そのボランティア仲間誘われて、シルバーには、平成25年に入会。「小物班」と「子育てひろばベビーゆうゆう」2つのグループで活躍中です。「仕事仲間の皆さんがとても良い方がたで、どちらの仕事も楽しく

が大変なこととは何もないの。子供が大好きなので、子育て支援はとても楽しいし、ケガで4か月休んだ後も、0〜3才の子供たちが自分のことを忘れずにいてくれたのはとても嬉しかった！いつもでも健康で楽しく働いていけるように頑張りたい」と、ここにこしながら語られました。小物班では最近新しいメンバーも増え、活気があります。土屋さんは毛糸編みのベストやアクリルたわし、お玉などの手作り作品を出品。イベントではメンバーの心のこもった作品が販売されます。

仕事は市民球場での管理業務をされているベテランです。仕事と同時に球場利用される若い方とふれあいも大事にされています。特筆すべきは自転車・ロードバイクです。ロードバイクを始めたのは61歳。10歳以上も年上の人がレースに出場している映像を見たのがきっかけです。その後、サイクルイベント「佐渡ロングライド」に4年連続出場。これは210キロもの長距離を8〜9時間位で走りきるハードなものです。5年前には、静岡で開催の80キロレース。60歳以上の部で見事優勝。ご自宅にはなんと4台の自転車



市民球場管理業務
神田 義博さん
(今年72歳)

があります。内訳は通勤用、マウンテンバイク、ツーリング用、レース用です。ご近所のサイクリングの達人と一緒に、これまで北海道・台湾一周など、各地をツーリングで楽しんでこられました。「リタイアからのロードバイク」のブログも続行中です。週2回は、体力・持久力維持のためのトレーニングもします。家庭では奥様を気づかい、中華鍋を使う料理を担当し、炒め物やチャーハンもお手のものです。絵画展などにはいつもご夫婦で出かけられるそうです。いつまでも元気で、好きな仕事、趣味の山歩きやサイクリングを続けていきたいと語られました。

各地域懇談会が開催されました

住吉地域懇談会

10月16日(水)の午後1時半から、住吉文化センターで住吉地域の地域懇談会が開催されました。出席会員数は、班長さんのご努力で48名の多数となりました。

小谷班長と落合班長の二人の司会で開始され、最初に松本副会長の挨拶があり、センターの第3次中期計画の2年目の今年の課題や、事業展開などについてお話がありました。

次に住吉地域の「ふれあい」懇談会の主題である、出席会員全員の自己紹介が実施されました。全員から、趣味や就業状況などについて一言がありました。

続く質疑では、前週の台風19号に関連して、当日心配しながら就業した件などが報告されました。出席の事務局職員から「直前の仕事先との連絡など、緊急事態での難しさがある」との説明がありました。これまでに体験のない大型台風で、難しい判断を迫られたようでした。今回の対応が、今後このような場合に参考になると思われる

ます。

後半の防犯講座は、府中警察署から特殊詐欺の被害防止について注意点を話されました。府中市の特徴なども織り込まれた説明があり、大変興味深く参考になりました。



是政地域懇談会

10月18日(金)午後1時半からは政文化センターにおいて、11名の出席により地域懇談会が開催されました。

小林班長の司会で始まり、渋谷会長、関根常務理事、成沢理事が紹介され、渋谷会長から「台風19号で市内の避難所が満杯となり大変でした。健康センター前のグラウンドが水浸しで、草刈りなどの仕事ができなくなり、シルバーとして大きな痛手です。また、懇談会の参加数は少しずつ増やす努力をしてほしい」との挨拶がありました。

続いて、是政地域の活動報告が小林班長からあり、出席会員の自己紹介、就業状況等が報告され、その後質疑応答が積極的に行われました。

第二部として、地域包括支援センター「これまさの古幡氏により、「転ばない体操」教室が実施されました。「是政・小柳地区には5千人の高齢者がいて、活動量が減ると筋肉が減る。一歩外に出るのが介護予防につながります」との話のあと、体操に移りました。講師の先導で、首、肩、

腕や下肢を動かして身体が温かくなり、参加者も久々の運動を楽しみ、満足されての散会となりました。



片町地域懇談会

11月2日(土)午後1時20分から、25名参加のもと、片町文化センターで地域懇談会が開催されました。

佐藤地域委員の司会で始まり、役員と班長の紹介の後、松本副会長からセンターの現況説明がありました。内容は、平成30年度と令和元年度上期の実績報告、シルバーの主な課題、今後の主な行事についてでした。

続いて、参加会員全員から就業状況等の自己紹介があり、その後疑問点・困っていること、要望等が出され、これに対し松本副会長、関根事務局長から、説明がありました。

休憩をはさんで後半は、府中市ふるさと文化財課の佐藤梨花氏からの講演がありました。テーマは「発掘が語る府中の歴史」で、配布資料とプロジェクトを使った説明がありました。「武蔵府中熊野神社古墳」や「武蔵国府跡」「分倍河原周辺」についての解説があり、私たちの府中の歴史を一層深く理解することができました。

府中の古墳などについても活発な意見交換があり、午後4時半に地域懇談会が終わりました。



四谷地域懇談会

11月9日(土)に、四谷地域懇談会が四谷体育館において、新企画の「カローリング&ポッチャ大会」として開催されました。

カローリングとは、水上のスポーツのカーリングを体育館の床面上で行うものです。ポッチャは反発の少ないボールを使って、紅組・青組が

自分達のボールを、出来るだけ白い的の近くに放る競技です。どちらも単純ですが、勝敗を競う楽しいゲームです。朝9時に受付を済ませた方が、競技方法を教わりながら早速練習です。

9時半に、担当の佐藤地域委員から開会宣言があり、競技ルールや注意事項などが説明されました。続いて渋谷会長から、「競技を楽しみながら親睦を深め、健康増進を図ってください」と挨拶がありました。

体育館はカローリング2コート、ポッチャ2コートの4エリアに分けられ、参加者は3名づつ8チームに分かれて、競技に取り組みました。初めて競技に参加する人が多く、審判等に質問しながら、熱心に競技に参加していました。

試合が進むにつれて競技に熱が入り、各コートからは拍手や歓声が上がっていました。各チームはカローリング3試合とポッチャ3試合を実施しました。

終了後は会議室で表彰式が実施され、成績は各チームのカローリングとポッチャの計6試合の合計点で、順位が決まりました。順位の第3位では、同点でクジ引きも実施されるほどの接戦でした。参加者30名全員に参加賞が渡され

ました。

表彰式の挨拶において、松本副会長から公益社団法人としてボランティア活動の重要性が強調され、就業途上等の自転車等の交通事故の注意喚起がありました。

今回の新しい形の地域懇談会は、シルバーの会員交流事業検討会や四谷体育館運営協議会の協力などもいただき、盛況の内に終了することができました。



白糸台地域懇談会

11月13日(水)午前10時に府中本町駅に集合して、地域懇談会が開催されました。

駅前の国史跡「武蔵国府跡国史館地区」を約1時間見学しましたが、無料貸出のイヤホン付きガイドは、1番から5番までを選ぶと平安時代の昔の風景が映し出されて、当時の優雅さを忍ぶことができるという優れものでした。

古墳発掘にも携わった府中市のふるさと文化財課和田信行主査からは、当時の井戸跡まで案内していただきました。

武蔵国府跡を見学したのち、約30分歩いて懇談会会場の郷土の森博物館に到着しました。

すぐに昼食を取り、10分ほど休憩を取って2階の会議室で懇談会が始まりました。

懇談会では仕事での発言は少なく、参加者の大半は武蔵国府跡の見学の話に終始しました。

会場が地域と離れ、歩きなどが入ったため、参加者は16名で、人数が少なめであったことが、今後の課題になりました。



新町地域懇談会

11月14日(木)午後1時半から、新町文化センターで会員52名が参加して懇談会が開かれました。

高橋地域委員の進行で開会され、渋谷会長から挨拶を兼ねてセンターの状況報告等について話がありました。「今年度の実績は台風による多摩川増水の被害で昨年より若干減の見込みだが、派遣事業も含め仕事の受注は増えている。最近、事故やケガが増えているので、健康管理に留意して就業してください」とのことでした。

続いて、関根常務理事から、会員の皆さんのために力を尽くしますとの挨拶がありました。

懇談会に入り、中野班長からボランティア清掃活動の状況報告があり、来年2月には50回目(9年目)となる紹介され、会員の皆様に参加の要請がされました。

質疑応答では、「高齢会員が楽しんで、働ける場を作る働きかけをして頂きたい」との要望があり、渋谷会長から「会員交流会も活発に活動しており、楽しみにしている会員も増えています」との説明がされました。



第二部では、新しい試みとして、ギターとオカリナの演奏会がありました。演奏曲目はよく知られている懐かしい名曲が選ばれ、ギター奏者の音喜多氏による軽妙かつ感動的な話もあり、またオカリナ奏者寺村氏の絶妙な演奏に、会員の皆さんも熱心に耳を傾けていたのが印象的でした。

最後に、高橋地域委員の閉会挨拶で地域懇談会は終了しました。

職業能力開発センター
技能祭

11月3日(日)多摩職業能力開発センター府中校において技能祭が開催され、当センターから、小物班が出店し、手作りの小物販売を午前10時〜午後3時まで行いました。

売り場はお客様が途絶えることなく常に賑わっていました。お客様の中には、毎年小物班の販売を楽しみにしている方もいて、人気ぶりが伺えました。

また、小物班では、商品販売だけではなく、「松ぼっくりクリスマスツリー」や折り紙で作る「変わり鶴」作りの無料体験コーナーを設けました。会員が先生役となり、お客様一人一人に丁寧に作り方を教え、計30名のお客様と一緒に小物作りを楽しみました。



女性会員交流会
高尾山ハイキング

11月12日(火)、女性活動検討会企画の女性会員交流会として高尾山ハイキングが行われました。

10月の台風19号の影響で、高尾山の1号路と6号路が通行止めで開催が危ぶまれましたが、10月下旬に委員3名が下見に行き、幼稚園児や小学生など多くの方が登っていること、往復ケーブルカーを利用し山頂には行かないこと、安全に十分配慮することで、開催する運びとなりました。

雲一つない晴天の中を委員6名、

参加者10名、職員1名の計17名で、京王線府中駅から高尾山口駅へ向かいました。そこからケーブルカーの清滝駅までは徒歩5分、全員ケーブルカーに乗り高尾山駅で降り、薬王院を見学をして仏舍利塔付近で昼食をとりました。

高尾山駅から薬王院までは歩いて20〜30分なので、委員と参加者を3班に分けて班ごとに歩く予定でしたが、紅葉まつりの開催中で登山客が多く、歩く速さの違いなどもあり予定通りにはいきません。でも、参加者は皆交流しながら楽しく歩くことができました。

昼食後は高尾山駅まで戻り、全員でケーブルカーに乗り清滝駅で解散しました。それほど紅葉していませんでしたが、天気が良く遠くの景色を眺めることができ、普段接点がない会員同士の交流ができて、楽しい時間を過ごせました。



府中リサイクルフェスタ2019

10月5日(土)午前10時からすずかけ公園において、府中市と府中リサイクル推進協議会との共催による「府中リサイクルフェスタ2019」が開催されました。

不用品の再利用とリサイクルの推進を目的に、フリーマーケットを中心に、マイバック作り、おもちゃの病院、乾電池回収、模擬店等が出店しました。子供広場での木箱作りや、模型作りでにぎわいを見せていました。

センターからは、刃物研ぎ班が参加し、20本以上の刃物研ぎを行いました。また、センターの広報チラシとお助け隊のチラシを配布し、入会のお誘いやPR活動を行いました。

好天に恵まれて、開始の10時から来店者、来場者が集まり、100店舗以上のフリーマーケットは沢山のお客さんで溢れ、思い思いに品定めをして、購入していました。焼きそば、トン汁、コーヒードも人気を博していました。



府中市民協働まつり

第5回府中市民協働まつりが、11月23日(土)〜24日(日)にル・シーニユの市民活動センター「プラッツ」で開催されました。

10時前の特設ステージの開会式では、高野府中市長のあいさつがあり、130を超える団体が参加するイベントが始まりました。

当センターは6階第6会議室にブースを構え、シルバー人材センターの活動紹介や入会相談、小物班による手作り作品販売が行われました。色とりどりの可愛い作品が人の目を引き、お客様がたくさん買っていく様子も見られ、一時はごったがえす位の盛況でした。

また、シルバー人材センターの仕事の説明を行ったり、仕事を頼む際の手続きなど、就業につながりそうな話もありました。



会員からの投稿(俳句)

◆大井 恒行さん

- ① 戒厳令和パレード何の華やぎや
- ② 一月の神は知らずよ悉皆草木
- ③ 日が射して人家玄冬古びつつ

◆成沢 洋子さん

- ① この町もいく久しくとや松の芯
- ② 清しさや茅の輪くぐりの竹の音
- ③ 梅小鉢そろそろ孫の産まれたか
- ④ 幼な児の歩み大きく手に破魔矢
- ⑤ 振り袖にあられころ初詣

令和元年度 主な行事予定

- 1月 役員班長合同懇談会(17日)
- 2月 これからシルバー応援 FESTA(第七ブロック主催)(21日)
- 3月 第2回安全推進大会 ウォーキング(26日)

計 報

- 林崎 健 (四谷)
- 奈良 清則 (住吉町)
- 齋藤 嘉之 (浅間町)

編 集 後 記

平成から令和へと変わり、新しい時代が始まりました。渋谷会長と高野市長からそれぞれ新年度に向け抱負や計画について年頭のあいさつを頂きました。令和2年度には、会員数も2,000人に達することが期待できます。

10月から12月にかけて各地域懇談会が開催され地域ごとに工夫を凝らした催しが行われました。毎年恒例の「府中リサイクルフェスタ」(10月開催)や、「府中市民協働まつり」(11月開催)にも参加してセンターの活動を広くお伝えすることが出来たと考えております。

令和2年にも当センターが着実に進展することを願ひ、皆様のご多幸を祈念します。

(広報委員会 清水)

